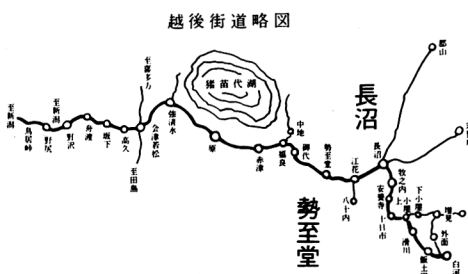


### (3) 交通のうつりかわり

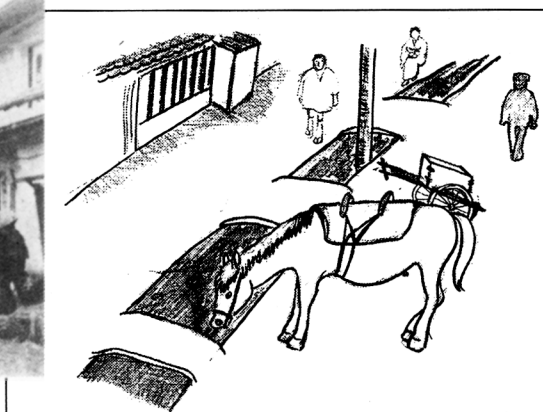
今から100年ほど前は、すか川市やしらかわ市からあいづわかまつ市の方に行く時は、ほとんどの人が長沼町を通って行きました。この道は、「あいづかい道」とよばれ、たくさんの方が行き来しました。さどに金が見つかった時は、金もはこばれ、大変にぎわっていました。

あいづかい道 (100年前)



金町通り (80年前)

水ろ (100年前)



このころは、にもつをはこぶ時は、たいてい「に馬車」を使っています。ですから、今の金町通りのまん中に、「に馬車」をひく馬に水をのませるための「水ろ」がつくられてありました。たくさんの方が、この「水ろ」で馬に水をのませ、また遠くの町ににもつをはこんでいったのです。写真は、80年前に金町の通りをうつしたものですが、「水ろ」をうめたあとがまだ道のまん中にのこっているのがわかります。